

第 31 回鋼構造基礎講座

鋼橋の設計法

—これからの設計者に求められる鋼橋の設計法—

平成 28 年 10 月 13 日

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

まえがき

土木学会鋼構造委員会鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育（CPD）の一環として、これまで鋼橋の設計、施工、維持管理などに関するさまざまなテーマで基礎講座を毎年2回実施しています。今回第31回基礎講座は、「鋼橋の設計法」をテーマに企画しました。

平成24年に改定された道路橋示方書において、大地震時調査・復旧時の課題や、高齢化橋梁の増大などを背景に、維持管理の確実性の考慮が設計理念として示されました。また、合理化のみを追求してきた橋梁形式の課題も出てきているように見受けられます。さらに、鋼道路橋の設計法として部分係数設計法を導入する道路橋示方書改定発刊が間近に控えています。これまで慣れ親しんできた設計法からの脱却が求められます。

このような背景のなか、どのような視座に立てば、良い橋が設計できるのか、今一度考える時期に来ているのではないのでしょうか。そのような思いから、設計の各テーマについて、その動向の最先端におられる識者の方々の話を聞き、これからの設計業務の糧にさせていただけるような内容の講座の企画を目指しました。サブテーマを「これからの設計者に求められる鋼橋の設計法」とはしましたが、初級、中級の設計者の方だけでなく、ベテランの設計者の方、鋼橋の設計に関する課題を抱えておられる方、設計の指導に当たられている方、設計部署ではない技術者の方など、どの立場の方々にとっても参考になることが盛りだくさんで、有意義な講習会になると期待しております。

平成28年10月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 勝地 弘

目次

1. 鋼橋の部分係数設計法について.....	1
村上 茂之（岐阜大学）	
2. 継手の設計とその耐久性について.....	27
山田 健太郎（名古屋大学名誉教授・中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 顧問）	
3. 鋼橋における維持管理の配慮について.....	82
玉越 隆史（土木研究所構造物メンテナンス研究センター）	
4. 鋼鉄道橋の設計の現状と今後の動向.....	151
池田 学（（公財）鉄道総合研究所）	
5. 橋梁デザインに現れる地域文化.....	202
八馬 智（千葉工業大学）	
6. これから求められる鋼橋の設計 — 目的は良い『橋』ができること、設計法は道具の一つです —.....	255
西川 和廣（（一財）土木研究センター 理事長）	